

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
エステティック上級理論		エステティックマスター学科/1年	2026/通年	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
50分	75回	5単位(75時間)	必須	
授業の概要				
<p>健康と幸福の増進を目的としたリラクゼーション業界で発展を続けているスパ産業について学ぶ。スパの起源である温水による身体への影響、効果について学ぶ。解剖生理学や栄養学を復習しながらスパセラピーが心と身体へ与える影響や効果、食事療法や運動プログラム、衛生管理など指導者、管理者としての知識も深めていく。</p> <p>上級実技理論では、世界各国の技術の特徴や効果などを学び、お客様へ適切な技術提供ができるようコンサルテーションを行う。</p>				
授業終了時の到達目標				
世界や一流のスパで活躍できるスパ・セラピストになれる様、基礎知識から応用まで学び、お客様への説明からカウンセリングまで出来ることを目指し、スパセラピストの資格取得を目指す。				
回	テーマ	内容		
1～ 3	スパ理論①	スパ概論 (スパセラピー P.6～19)		
4～ 6	スパ理論②	スパにおけるトリートメントの実際ー湿式トリートメント、乾式トリートメントー		
7～ 9	スパ理論③	スパにおけるトリートメントの実際ースパで行われるセラピーー (スパセラピー P.49～76)		
10～ 12	スパ理論④	生体のホメオスタシス (スパセラピー P.78～89)		
13～ 15	スパ理論⑤	スパにおける食事療法ースパキューイジーヌ、栄養学の基礎知識ー (スパセラピー P.92～96)		
16～ 18	スパ理論⑥	スパにおける食事療法ー免疫力を高める食事療法、その他の食事療法ー		
19～ 21	スパ理論⑦	スパの運動プログラム (スパセラピー P.124～133)		
22～ 24	スパ理論⑧	スパの環境と条件ースパの環境と設備、スパにおける衛生管理ー (スパセラピー P.134～148)		
25～ 27	スパ理論⑨	スパの環境と条件ースパで求められる人材、スパセラピストの業務、スパにおける救急法ー		
28～ 30	スパ理論⑩	スパに関連する法規 (スパセラピー P.172～175)		
31～ 33	スパセラピスト筆記対策①	スパセラピスト筆記対策(小テスト含む)① 試験問題解説、校内試験(模擬試験)		
34～ 36	スパセラピスト筆記対策②	スパセラピスト筆記対策(小テスト含む)② 試験問題解説、校内試験(模擬試験)		
37～ 39	スパセラピスト筆記対策③	スパセラピスト筆記対策(小テスト含む)③ 試験問題解説、校内試験(模擬試験)		
40～ 42	スパセラピスト筆記対策④	スパセラピスト筆記対策(小テスト含む)④ 試験問題解説、校内試験(模擬試験)		
43～ 45	スパセラピスト筆記対策⑤	スパセラピスト筆記対策(小テスト含む)⑤ 試験問題解説、校内試験(模擬試験)		

回	テ ー マ	内 容		
46～ 48	エステティック上級理論①	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）① ヒーリングセラピーについて		
49～ 51	エステティック上級理論②	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）② ツボリンパマッサージについて		
52～ 54	エステティック上級理論③	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）③ ロミロミマッサージについて		
55～ 57	エステティック上級理論④	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）④ フィットセラピーについて		
58～ 60	エステティック上級理論⑤	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）⑤ ストーンセラピーについて		
61～ 63	エステティック上級理論⑥	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）⑥ フェイススリムについて		
64～ 66	エステティック上級理論⑦	上級実技理論（世界のスパで行われる技術）⑦ 青竹セラピーについて		
67～ 69	エステティック上級理論⑧	上級実技理論（コンサルテーションの作成）① お客様に合わせたスパ技術の選択		
70～ 72	エステティック上級理論⑨	上級実技理論（コンサルテーションの作成）② お客様に合わせたスパ技術の選択		
73～ 75	エステティック上級理論⑩	上級実技理論（コンサルテーションの作成）③ お客様に合わせたスパ技術の選択		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本スパ・ウエルネス協会 『スパセラピー』 『理論Ⅰ～Ⅵ』 『美容瘦身学』 『技術Ⅴ』 ・ 日本スパ・ウエルネス協会 『スパセラピスト 例題集』 ・ 筆記用具 ・ ノート 		出席率	10.0%	定期筆記試験は70点以上 /100点で合格。70点未満は 再試験を行う。 出席率90%以下の場合、 成績評価の対象外となるの で注意すること。 遅刻・早退は10分まで。 遅刻・早退3回で欠席1回と する。
		授業態度	10.0%	
		小テスト	10.0%	
		期末試験	70.0%	